



モンゴル生命科学大学
獣医学部
JICA
プロジェクトサイト
JICA公務員獣医師及び
民間獣医師実践能力
強化プロジェクト



毎年4名程度の大学院生が、One Health Ally Courseの submodule 4 “One Health on-site training”としてモンゴルに派遣されています。現地のJICAプロジェクトサイトの協力の下、学生たちは実践的な経験を積む貴重な機会を得ています。今回、受け入れ側の関係者に、学生たちの印象や期待することについて話を伺いました。

卓越大学院プログラム担当
佐藤 雅咲
2025.3.24

学生の印象

派遣される学生は皆、真面目で落ち着いた印象を受けます。穏やかで、協調性がありますね。プロジェクトサイトとの交流は限られていますが、ホスタイ公園でのBBQでは学生同士の距離が縮まり、楽しそうに過ごしていました。モンゴル人の北大生がアテンドしてくれたこともあり、現地にスムーズに馴染めていたようです。

分野を超えた学びの可能性

モンゴルは急速に発展しており、日本とは異なる社会課題に直面することで、新たな視点を獲得することができるのではないのでしょうか。たとえば、ウランバートルでは急激な人口増加により交通インフラの未整備が影響し、慢性的な渋滞が発生しています。これは工学系の学生にとって、自身の専門知識を応用で

きる分野の一つと言えます。また、教育分野においては、急速な人口流入により施設整備が追い付かず、午前・午後の二部制で学校が運営されています。このように、発展途上国の現場には、さまざまな学びのチャンスが広がっています。比較の観点からも、学生それぞれの分野で日本との違いを知り、それを活かしてほしいです。モンゴルは人口が少ない中で経済成長のスピードが速く、子どもたちのエネルギーを強く感じる国です。自分の領域を活かせる場所を探し、それを見つけるチャンスを広げてほしいですね。

国際共修活動としての意義

若いうちに異文化の中で経験を積むことは非常に有意義だと感じます。共に旅をすることで自然とコミュニケーションが生まれ、深い絆が育まれます。プロ

ジエクトスタッフの中には、大学時代に中国や韓国の学生と共に日本に滞在し、地元の小中学生と餅つきや書初めをして交流した経験を持つ者もいます。当時の留学生たちとの関係は今でも続いており、派遣される学生たちにもそのような繋がりを築いてほしいと願っています。

期待

One Healthの概念は、モンゴルの国の政策にも取り入れられ、少しずつ国民への認知が高まっていると感じます。現地での経験を通じて、この分野に関心を持つ学生がより深く関わることを期待しています。また、派遣された学生たちが国際協力の場で学びを活かし、活躍してくれたら嬉しいのです。

派遣側への要望

事前オリエンテーションがしっかり行われていることが伝わってきます。加えて、安全対策についても事前に丁寧に周知していただくとありがたいです。夜の自由時間には単独行動を避けること、また、スマートフォンなどがポケットから見えているとスリの危険があるため、チャック付きのカバンの使用を推奨します。こうした注意喚起を派遣前に行ってもらえると安心

できますね。また、モンゴルでの経験が学生の研究や職業にどのように活かされているのか、母国にどう還元されているのかを知りたいです。活動を通じて築いた関係が、One Healthの実現につながることを期待しています。



モンゴル生命科学大学
獣医学部公衆衛生部門
Nyam-Osor
Purevdorj先生

学生の印象

派遣される学生は、多国籍かつ多分野のメンバーで構成されており、文化交流が活発に行われる環境が整っていると感じます。また、学生たちは協力的な姿勢をしっかりと持っており、積極的にコミュニケーションを取っていました。私のラボでは、AI/VCコース以外では他大学からの受け入れは行っていないため、私自身にとっても非常に良い機会となっています。また、どの学生も多くの質問をし、意欲的に学ぼうとする姿勢が見られました。

学生に期待すること

学生たちには、日本・自国・モンゴルの比較を通じて、それぞれの違いや共通点を見つけてもらいたいと考えています。また、モンゴルのような発展途上国が国際的な協力者などのように連携しているのかを学び、異文化協働の在り方について理解を深めてほしいです。

異分野の学生を受け入れる価値

専門分野の異なる学生が集まることで、新たな気づきを得る機会が増えると考えます。異分野

の視点を取り入れることは、研究や議論の中で新しい発見を生むきっかけとなります。また、私のラボの学生にとっても、英語でのコミュニケーションを実践する良い機会となります。加えて、多分野の学生が参加する環境では、自分の研究を異分野の人に分かりやすく伝える能力が求められるため、その重要性を学び、実践する場としても有益です。

派遣側への要望

多分野の学生が参加していることから、事前にそれぞれのOne Healthに対する考えを知っておきたいです。たとえば、A4半ページ程度で「*your view, what is the significance of One Health?*」というテーマについてショートエッセイを提出してもらえると良いかもしれません。これにより、学生たちの視点を事前に把握し、より効果的な議論ができると思っています。